

山の日情報

(第 13 号)

平成29年7月24日

秋田県生活環境部
自然保護課

【活動記録】

県では昨年度、太平山丸舞登山道における木橋の改修工事を実施しましたが、木橋の破損により長らく登山道が通行止めになっていたため、ヤブ化が進み、登山者の道迷いが危惧されていました。

このため、社会人山岳会と高校山岳部に呼び掛けて、ボランティアによる登山道の刈払いを計画しましたが、地元の河辺山歩会さんのご尽力により、ボランティア作業前までに刈払いは完了したため、当日は標柱の補修作業と太平山登山が目的となりました。

参加者の感想は、次のとおりです。

(日本山岳会秋田支部 鎌田倫夫さん)

平成29年7月15日(土)7時30分、集合場所のユフォーレ駐車場には秋田市内の社会人山岳会と仁賀保高校山岳部が受付後各自の自家用車に分乗して丸舞登山口に移動した。途中の林道が四輪駆動車でも気を使いながらの悪路であった。

参加者40名程が全員揃ったところで秋田県生活環境部自然保護課から挨拶があり、続いて地元河辺山歩会の太平山管理員である石塚稔代表からこの日の作業工程についての説明があった。

丸舞登山コースは数年前まで登山者に利用されていたが、コース沿いの橋が決壊したため通行止めとなっていた。私は40年程前に登ったのを最後に訪れていない。途中新しく架け替えられた橋が2箇所あり、ここが決壊した場所だと知る。他の橋も古く2～3人ずつ渡った。

沢から離れて間もなく鉾山跡地に着き、鉾山最盛期の説明があった。ここは籠滝沢の大滝に通じる分岐になる。過去に鬼子沢と籠滝沢の合流地点から沢登りをして弟子還のクサリ場取付点に登ったことがあるが、この分岐は記憶になかった。参加者の内5名がこれより滝までの刈払いのため別れる。地形図を見ると以前のルートとは少し変わったようだ。今は冷たい水場があってありがたい。

刈払い前の尾根上はヤブ同然であり延べ人数70名程、延べ日数は10日程を要したという。山頂小屋に宿泊しながらの作業もあったそうだ。コースでの刈払いは全て終了しており、河辺山歩会の苦勞を知る。

新しい案内板と倒れた標柱を立て直し、時間の関係上、不帰ノ沢との合流地点で引き返すことになった。全員無事下山後、記念撮影して解散した。



(仁賀保高校 山岳部主将 能登谷壮さん)

僕がこの太平山のボランティア活動に参加して一番心に感じたことは、ボランティアの人や山の会の人たちへの感謝の気持ちです。

普段、僕たちは部活で大会の下見や本番、夏山合宿などでよく山を登りますが、山道の整備された道や道標になる看板などはあまり気にしていませんでした。

しかし、ボランティア活動に参加をしてみて、重い看板や木槌、木や雑草を刈り取るハサミなどの道具を全て自分たちで持って山に登るということは、とても大変だということを改めて感じました。

今回、ボランティア活動をして大変でしたが、太平山の魅力にも触れることができ、とても貴重な体験ができました。また、ボランティア活動をすることで、大会で登る太平山に少しでも恩返しができたのではないかと思います。

これからも多くの山に登ると思いますが、地域のボランティアの人や山の会の人たちへ感謝を忘れずに楽しく登山をしていきたいです。



【後日談】

登山道は登山者がいてこそ道として存続できるので、7月15日のボランティア作業では目的を達成することができたのですが、時間の関係で太平山山頂まで登れなかったことが心残りとなりました。

このため、自然保護課では後日、改めて丸舞口から山頂までの登山をしてきました。

私は10数年前に太平山丸舞登山道を登ったのが最初で、今まで4～5回程丸舞登山道を登っているのですが、これほど歩きやすくなっている丸舞登山道は初めてでした。

ヤブによる道迷いの心配はありませんし、危険箇所にはロープが張られ、安全な登山を楽しむことができるようになっています。

河辺山歩会さんを始め、刈払作業等を行ってくださった皆様、本当にありがとうございました。

また、登山者の皆様、太平山は旭又登山道だけではなく、丸舞登山道や野田登山道、萩形登山道といったコースもありますので、これらの登山道も歩いてみませんか？